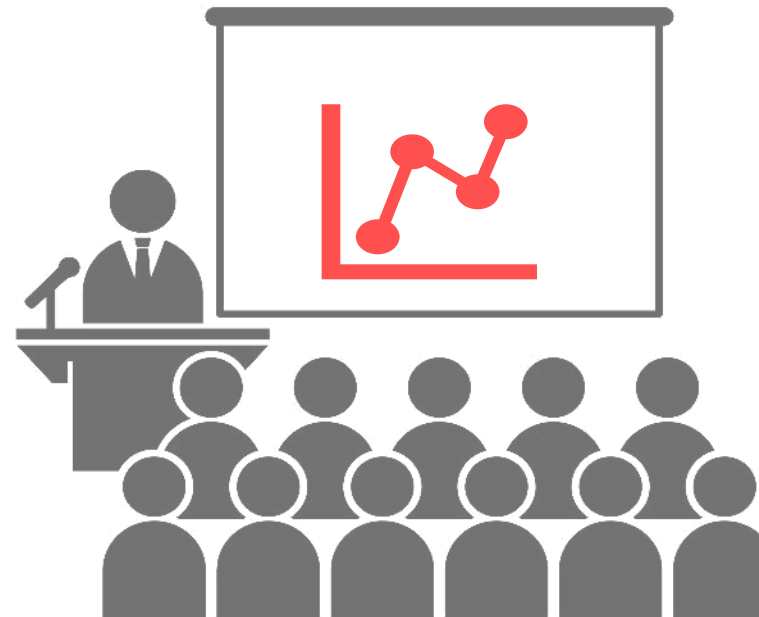


## ■スライドショーに書き込むメリット

- 対面授業において、投影している画面に直接書き込むことができ、学生は大画面で見ることができます。
- 同時配信授業において、投影しているものと同じ画面を共有できるため、オンライン参加の学生もクリアに書き込みを見ることができます。
- スクリーンと黒板を行き来することなく、スムーズに授業を進めることができます。
- 既存の PowerPoint でも、新規の PowerPoint でも使用できます。
- 書き込みを保存することができます。

※別マニュアル参照

- 既存ファイルの発表者ツールに書き込みをする
- 新規ファイルの白紙に書き込みをする

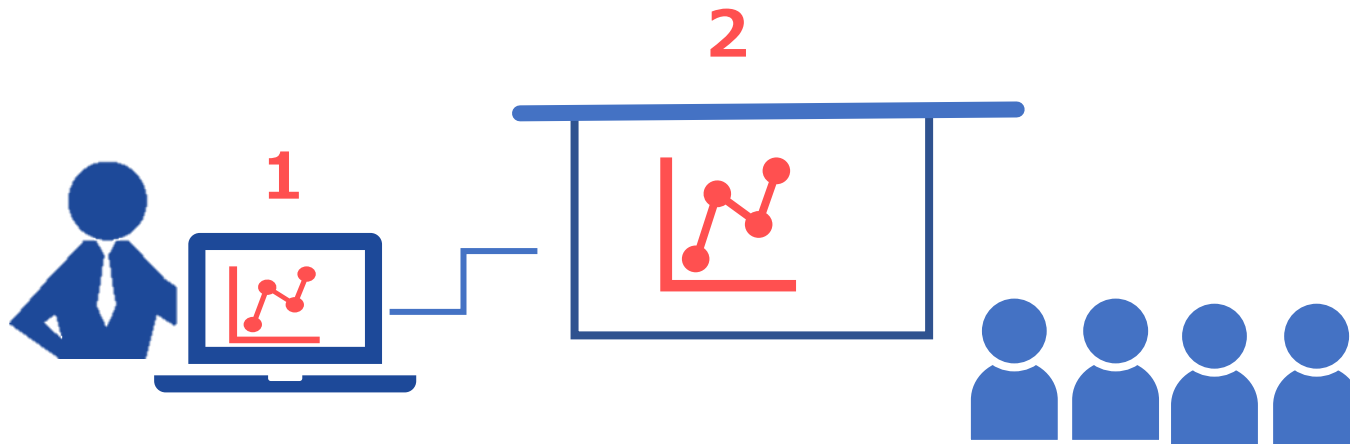


- Surface 等の対応機種はタッチペンが有効です
- マウスも使用できます



## ■ 2画面（デュアルモニター）についての注意

- モニターやスクリーンに接続されたパソコンは、2画面構成（デュアルモニター）になっています。
  - 2画面構成では、パソコン画面とスクリーンの表示が同じ【複製】と画面を広げる【拡張】等のモードが選択できます。
  - このマニュアルでは、【複製】モードでの手順を説明しています。
  - PowerPoint の【発表者ツール】を使用する際には、スライドのみをスクリーンに表示させる【拡張】モードを使用します。
  - 既存の PowerPoint で、【発表者ツール】を使用する場合、カーソルの位置が、パソコン画面とスクリーンとで、相対座標位置になります。表示スライド上でポイントする際には、カーソルを使用せず、発表者ツールのポインターを使用してください。
- ※別マニュアル「発表者ツールを使う」参照



表示モードの切り替え方法  
【Windows】+【P】

